

内科学：その他

39-077 睡眠時無呼吸症候群と関連がないのはどれか。

- ① 悪夢 *は、直接関連がない。*
- 2. 不眠
- 3. いびき
- 4. 高度の肥満
- 5. 昼間の眠気

④ 睡眠時無呼吸症候群

睡眠中の10秒以上の呼吸停止が、1時間に5回以上、または7時間の睡眠中に30回以上ある状態をいう。
 日中の眠気、いびき、起床時の頭痛などがある。
 肥満、アルコール飲酒、加齢などによる。

41-070 生活習慣と疾患との組合せで誤っているのはどれか。

- 1. 喫煙———肺癌
- ② 脂肪の過剰摂取———痛風 *高脂血症、高血圧など*
- 3. 食塩の過剰摂取———高血圧症
- 4. 運動不足———高脂血症
- 5. アルコール過剰摂取———肝障害 *(脂肪肝)*

42-069 眼疾患とその病態との組合せで正しいのはどれか。

- 1. 白内障———硝子体の混濁 *水晶体*
- 2. 緑内障———眼圧の低下 *亢進*
- ③ ベーチェット病———ぶどう膜の炎症
- 4. 流行性角結膜炎———色素上皮の剥離 *「はやり目」のことで、角膜結膜の充血や眼瞼の腫脹がある。*
- 5. 麦粒腫———眼瞼の悪性腫瘍 *眼瞼にある皮脂腺・汗腺の化膿性炎症 (ものもらい、めぼし)*

42-070 ショックの初期症状として誤っているのはどれか。

- 1. 動脈圧の低下
 - 2. 心拍数の増加 *血流低下を補おうとして。*
 - ③ 呼吸数の減少 *増加(末梢の酸素不足を補おうとして。)*
 - 4. 冷汗の出現
 - 5. 尿量の減少 *腎への血流量が減ったため。*
- ④ ショック
 何らかの原因による急性の末梢循環不全
 血液が末梢に流れず、
 血圧低下、微弱脈拍、顔面蒼白、冷汗、呼吸不全、
 心拍数増加、意識障害。

43-076 慢性腎不全による血液透析患者の病態で適切でないのはどれか。

- ① 多血症 *貧血。エリスロポエチン(赤血球の産生を促す)の分泌減少により、重症の貧血となる。*
- 2. 骨軟化症 *腎臓のビタミンDの活性生合成が障害され、腸からのカルシウムの吸収が低下して起こる。*
- 3. 出血傾向
- 4. 不均衡症候群 *血液透析によって、水分の減少、酸・塩基平衡やpHのバランスが急激に変化することによって生じる。不整脈、脱力、頭痛、口渇、けいれんなどを生じる。*
- 5. 末梢神経障害

47-A-075 薬物療法について正しいのはどれか。

- 1. 薬物は半減期が長いほど体内から速く排泄される。 *半減期：薬の体内残留量が半分になる時期。*
- 2. 経口投与されたバクロフェンは髄液に移行しない。 *はい。*
- ③ 脂溶性の薬物は肝臓で代謝されると排泄されやすくなる。 *はい。*
- 4. 血液透析を受けている患者では投薬量を通常よりも多くする。 *はい。*
- 5. 抗てんかん薬の血中濃度が治療域の下限以上であれば発作は起こらない。 *はい、発作が起こることはある。*

④ 多血症

肺疾患や心疾患による酸素不足に代り、赤血球を増加して酸素を確保しようとしている。

47-A-095 運動負荷を漸増すべきでないのはどれか。

1. 発症後2日のラクナ梗塞患者 *ラクナ梗塞の場合リスクは低い。ラクナ梗塞: 1.9cm未満の小さな梗塞。*
2. 抗凝固薬投与中の心房細動患者 *抗凝固薬(血栓を作りにくくする薬)は一般的に継続的に使用。*
3. 発症後1週以内の労作性狭心症患者
4. 在宅酸素療法導入後の慢性閉塞性肺疾患患者
5. 下大静脈フィルター留置後の深部静脈血栓症患者

静脈内に置かれた血栓が肺に移行しておぼろに設置される。

48-A-086 ワルファリンの作用を減弱させるのはどれか。

1. ヘパリン
2. 抗血小板薬
3. ビタミンK *ビタミンKは血液凝固に働いたため、抗凝固薬(ワルファリン)の働きを減弱させる。*
4. ペニシリン系抗菌薬
5. 非ステロイド性抗炎症薬

49-A-082 病態と薬物療法の組合せで正しいのはどれか。

1. 肩手症候群——免疫グロブリン製剤 *— キラリバルド、多発性筋炎などに用いられる。*
2. 視床痛——A型ボツリヌス毒素製剤 *— 痙攣筋に対して用いられる。(ボトックス)*
3. 症候性てんかん——抗血小板薬 *— 脳梗塞や脳腫瘍の再発予防などに用いられる。(アスピリンなど)*
4. 深部静脈血栓症——抗凝固薬
5. 夜間せん妄——睡眠導入薬 *は、夜間せん妄を誘発することがある。*

49-A-086 男性に多い疾患はどれか。

1. 全身性エリテマトーデス *20~40代の女性に多い。*
2. Sjögren 症候群 *40~50代の女性に多い。*
3. 強直性脊椎炎 *20代~30代の男性に多い。*
4. 線維筋痛症 *40歳以上の女性に多い。*
5. 強皮症 *20~50代の女性に多い。*